

県民ひろば

2019年10月16日

No. 50

発行／県民クラブ
連絡先／大分県議会
大分市大手町 ☎(097)536-1111(代)

<http://www.oct-net.ne.jp/kenmin-club/>



災害に迅速に対応できる

「安心・安全」な社会の実現を

県民クラブ 高橋 肇(臼杵市)

と日頃からの活動に基づいた舌鋒鋭い質問と提言を行いました。詳細は2～3ページをご覧ください。



2019年第3回定例県議会は、9月17日に開会し、10月3日までの17

日間の会期で開催されました。執行部からの上程議案22件、請願2件、議員提出議案9件について審議を行いました。

一般会計補正予算については、2017年の九州北部豪雨で被災した田田市の小野川と有田川の復旧事業で、より高い防災効果を発揮できるように必要な工法変更をすること、18年度の決算余剰金を処分し、財政調整基金および減債基金にそれぞれ10億円を積み立てること、また芸術文化基金に8千万円、県有施設整備等基金に8億5797万5千円を積み立てることとしています。

予算外議案では、成年被後見人または被保佐人を資格、業務等から一律に排除する規定を適正化する法律が制定されたことに伴い、関係条例の整備を行うとし、今議会で審議されました。

一般質問では、原田・玉田・羽野・浦野の各議員が、現在の社会が抱える様々な課題を取り上げ、県民目線

ところで、最近の自然災害は目を覆つものがあります。9月9日に千葉県に上陸した台風15号により、大規模な停電と断水が長期間にわたり、人々の生活を脅かしました。その前の8月には九州北部を大雨が襲い、長崎県・佐賀県・福岡県では、記録的な豪雨となりました。しかし、それらに対する行政側の対応は、政府をはじめとして鈍く遅いもので、それがさらに被害を拡大し被災地を混乱させました。

私たちはこれらを「対岸の火事」とするのではなく、同様の災害が発生した場合に備え、迅速に対処できる備えを怠らないようにしておかなければなりません。

9月から始まった「ラグビーワールドカップ」。準々決勝2試合を含む5試合が大分県で開催されます。国内外から誰もが安心して訪れることができる「安心・安全」な大分県を実現するため、県民クラブはこれからも県民のみなさんの声を県政の場に届け、ともに歩んでまいります。